



大分県立 玖珠美山高等学校

同窓会報

2023

Vol. 1

DECEMBER



思いを一つに！
輝け玖珠美山高校

I N D E X

- 2 | 河野博文会長ご挨拶
- 3 | 穴井裕康副会長ご挨拶
- 4 | 秋好寿紀校長ご挨拶
- 5 | 令和4年度 進路実績
- 6 | 令和5年度 部活動実績
- 7 | 定期総会報告
会則／支部組織／役員等一覧
令和5年度 事業計画／学校創立10周年事業
令和5年度 収支予算
- 9 | 賛助金についてのお願い／「楠友会」からの寄付金について
今後の会報の送付方法
- 10 | 美山マルシェ／同窓会の愛称を募集します
同窓会ホームページ開設／同窓会報編集委員会

同窓会ホームページ

<https://kusumiyama-dousokai.jp>





ご挨拶

会長 河野博文

師走に入り、寒さも一段と強まってきましたが、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私は本年三月二六日に行われました旧大分県立玖珠農業高等学校同窓会と旧大分県立森高等学校同窓会、そして大分県立玖珠美山高等学校同窓会の三校同窓会を一つに統合した大分県立玖珠美山高等学校同窓会の会長に選出され就任しました、河野博文でございます。これまでそれぞれの同窓会が輝かしい伝統を継承し、歴史を積み重ねてきました。しかし少子高齢化が進む中、玖珠郡に二校あった県立高校を一つにして残すことが十年前に決まり、大分県立玖珠美山高等学校が誕生しました。創立当時、統合の準備会で新しい校名で新たな高校として設立し、同窓会も新規に設立するということになり、

旧同窓会とは別になりました。しかし玖珠美山高校にはまだまだ先輩も無く、逆に旧玖珠農高、旧森高の同窓会には新しく入会する後輩が無く、自然消滅します。そんな状況で現玖珠美山高校は玖珠出身の秋好校長が就任され、三高校同窓会を統合するという提案をいただきました。それぞれの同窓会に持ち帰り、検討を重ねてきました。ちょうどコロナウイルスの感染もあり二年以上と長い時間がかかりましたが、それぞれの同窓会で協議し、本年三月に統合した同窓会組織の設立に至りました。八月下旬に玖珠農高と森高同窓会がそれぞれに閉会式を行いました。

九月二日に新しい同窓会の総会を開催し新たな船出をしました。役員・予算書を添付しています。これまでの組織を基本に考えていますが、今後につきましては各地域、各支部

におかれましても統合に向けて合同の会を開いていただき、玖珠郡に一つとなった玖珠美山高等学校を母校と考え、これまで以上のご支援ご協力をいただきたく存じます。大分県内の傾向として少子化の中にも全県一区となつてから、大分市内の高校に受験生が増加しています。更に玖珠郡の中学生は現在一学年の生徒数が二〇〇人位ですが、年々減少することが予測されています。しかし、

玖珠町・九重町両町そして地域の皆様方から大きなご支援いただき、玖珠美山高校の普通科、地域産業科がそれぞれに特色ある学習や研究に取り組み、立派な成果をあげております。大分市以外では多くの高校で定員割れが生じていますが、玖珠美山高校では何とか定員維持が出来ています。今後も優秀な人材が玖珠郡から育ってほしいと願っています。

三校同窓会が一つになると亡くなられた方も含め約三万人の同窓会員となります。同窓会でも多くの同窓生がいろんな場で活躍されている情報や玖珠美山高校の生徒達が勉強・研修・体育部・文化部等で頑張っている姿等の情報をお届けする会報発送や在校生の支援を継続してまいります。

これまでの森高校同窓会には一口1,000円(何口でも結構です)の賛助金制度があり、玖珠美山高校同窓会でも導入し、同窓会運営と玖珠美山高校支援を行っていきたくと考えています。内容につきましては別頁に記載しておりますので、ご参照いただきご協力をよろしく申し上げます。

最後に皆様方のご健康とご多幸をお祈りし、会長就任のご挨拶と致します。



副会長 穴井裕康

皆様、こんにちは！

私は玖珠農業高校を昭和三六年に卒業しました、旧同窓会「楠友会」会長の穴井裕康です。

玖珠農業高校・森高校同窓会、玖珠美山高校同窓会が統合されるにあたり、一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

我が母校の玖珠農業高等学校は、明治四四年四月に玖珠郡立実業学校として設立され、時代の変遷により、併合や校名改称を繰り返し、昭和二六年、高校再編成により農業課程単独の大分県立玖珠高等学校となり、

昭和二八年に大分県立玖珠農業高等学校と改称されました。

創立以来、校訓の「至誠・努力・協同」の心を志とし、質実剛健の校風をはぐくみ、輩出された約一万余名の同窓生は、玖珠郡内外の各界で目覚ましい活躍をしまいいりました。特に郷土の基幹産業である、農林業・畜産の振興・発展に果たされた功績は多大であると誇りに思うものです。

平成二三年には創立一〇〇周年を迎え、盛大に記念式典が行われたことは大変喜ばしい事でした。

しかし、時代は移り少子高齢化により閉校となり、平成二七年に、森高校と統合され、玖珠美山高校が新設されました。これまで別々の二つの高校の歴史と伝統を結ぶものであり、豊かな教育環境を作り出し、新たな可能性を広げる原動力となると期待するところです。

昭和三〇年代から四〇年代かけ、「未来の後輩たちの農業教育に役立ててほしい」との思いにより、同窓会林の造林事業が行われ、丁度伐採時期を向かえるにあたり、伐採林の収益を得ることが出来ました。先人

の方々のご努力に、心から感謝するとともに「先見の明と行動力」に敬意を表するものです。その先人の思いに副って益金を農業教育のために活かしてほしいとの思いから、「基金」を創設し玖珠美山高校に寄付する運びとなりました。

最後に、玖珠美山高校が玖珠郡唯一の高校として末永く発展的に存続出来るよう、三校の同窓生が一丸となり、玖珠美山高校を盛り上げていかなければなりません。また、玖珠九重や県内外の皆様のご支援を賜りますようお願いし、ご挨拶いたします。

玖珠農業高校、森高校、そして玖珠美山高校の卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

私は、校長の秋好寿紀と申します。

昭和五十五年(一九四〇年)に森高校を卒業(二二回生)しました。母校の後身である玖珠美山高校で勤務できることの喜びと、職責の重さを実感しながら日々学校運営に努めております。微力ではありますが、玖珠美山高校の更なる発展、そして生徒(後輩)のために全力を尽くします。何卒よろしくお願い申し上げます。

本校は、平成二十七年四月に玖珠農業高校と森高校の良き伝統を引き継ぎ、発展的な統合により開校しました。今年で創立九年目を迎えます。現在、「美山PRIDE」をスローガンに掲げ、全校生徒三三〇名が学業はもとより部活動や学校行事にも意欲的に取り組み、充実した高校生活を過ごしています。昨年度の実績になります。が、今春に卒業しました八回生の進路につきましては、国公立大学に十七名が合格するなど、私立大学を含めた四年制大学に三〇名、短大・専門学校等に四三名が進学、十七名が民間



ご挨拶 ——校長—— 秋好寿紀

企業・公務員に就職しました。部活動では、男女のホッケー部と少林寺拳法部の一名がインターハイに出場しました。また女子ホッケー部と選抜チームの一名としてラグビー部の二名、なぎなた部の一名が鹿児島国体に出場し、女子ホッケーが準優勝、なぎなたが優勝、ラグビーが三位と素晴らしい活躍を見せ「チーム大分」躍進に貢献しました。さらに、文化部の吹奏楽部、書道部、美術部等が県大会で優れた成績を収めるとともに、地域のイベントにも出演し質の高い活動が好評を博しています。

次に、玖珠美山高校同窓会と玖珠農業高校同窓会、森高校同窓会との統合につきまして、説明をさせていただきます。

三年前に遡りますが、同窓会からの一層のサポートと組織の充実の必要

を感じた私は、着任した一年目から其々の同窓会長・副会長をはじめ役員の皆様にも、「二つの同窓会を統合し、玖珠美山高校を支えていただきたい」とお願いをしまし、各同窓会におかれましては、この提案を前向きにご検討いただき、令和三年十一月に「統合に向けた協議会」を開催し、統合を前提とした課題やスケジュールを確認するなど、統合への取組がスタートしました。その後、一回の協議会と二回の設立準備委員会を経て、本年三月に三つの同窓会を一つに統合するための「設立総会」が開催され、会則や役員、事業計画、会計予算に係る議案が承認されました。これにより三校の卒業生を合わせた二六、〇〇〇有余名の会員を有する同窓会組織が誕生いたしました。

新生「玖珠美山高校同窓会」の初

代会長は、森高校同窓会長を務められた河野博文様です。校長として本当に心強く、ありがたく思っているところです。事務局は、当分の間、本校内に置かせていただきます。七月には、インターハイ出場に対する激励金と海外短期留学に対する助成金の交付をいただき、関係生徒・職員にとって大きな励みとなりました。改めて心から感謝を申し上げます。また九月には、「玖珠美山高校同窓会」として最初の定期総会が玖珠町内で開催されました。来年度は、学校創立十周年を迎えます。現在、準備委員会を立ち上げ、令和六年十月一日に開催予定の記念式典をはじめ、周年行事等の準備に鋭意取り組んでいるところです。卒業生の皆様には、「玖珠農業高校、森高校の発展型が玖珠美山高校であり、在校生の活躍や学校の発展が本当に楽しみ」と言っていただけのように、教職員が一丸となり地域に信頼され魅力ある学校づくりを目指してまいります。今後とも、一層のご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、玖珠美山同窓会の益々のご発展と会員皆様のご活躍を祈念申し上げます、挨拶といたします。

令和4年度卒業生合格一覧（過年度生を含む、延べ人数）

国公立大学

北見工業大学	2
山口大学	1
愛媛大学	2
熊本大学	1
佐賀大学	2
名寄市立大学	1
兵庫県立大学	1
高知工科大学	1
山口県立大学	2
下関市立大学	1
周南公立大学	1
長崎県立大学	1
名桜大学	2
合計	18

私立大学

山梨学院大学	1
東海学院大学	2
国土館大学	1
神奈川大学	1
近畿大学	1
関西大学	1
同志社女子大学	1
環太平洋大学	2
福岡大学	1
中村学園大学	1
九州産業大学	2
九州看護福祉大学	1
久留米大学	1
久留米工業大学	1
国際医療福祉大学	1
純真学園大学	1
聖マリア学院大学	1
令和健康大学	1
別府大学	1
立命館アジア太平洋大学	1
熊本学園大学	1
宮崎産業経営大学	1
合計	25

大学校

大分県立農業大学校	3
大分県立工科短期大学校	2
九州職業能力開発大学校	4
トヨタ自動車大学校	1

合計 10

国公立短期大学

大分県立芸術文化短期大学	5
--------------	---

合計 5

私立短期大学

福岡女子短期大学	1
別府大学・短期大学部	2
別府溝部学園短期大学	1
大分短期大学	2

合計 6

医療系専門学校

大分医学技術専門学校	1
藤華歯科衛生専門学校	1
大分リハビリテーション専門学校 (作業療法)	1
福岡医健・スポーツ専門学校 (医療系)	1
福岡市医師会看護専門学校	1
久留米リハビリテーション学院	2
大川看護福祉専門学校	1

合計 8

専門学校

専門学校福岡ビジョナリーアーツ	2
福岡こども専門学校	1
大原簿記公務員専門学校大分校	2
KCS大分情報専門学校	4
西鉄国際ビジネスカレッジ	1
智泉福祉製菓専門学校	2

合計 12

民間就職(県内)

日本郵便(株)九州支社	1
名水美人	2
老人保健施設 はね	1
(株)イシイ九州孵卵場	2
クス精密(株)	2
(株)公月測量設計	1
樹ホテルジャパン株式会社	1
由布院別邸 樹	1
無量塔	1
株式会社イング	1

合計 12

民間就職(県外)

スズキ株式会社	1
トッパンパッケージプロダクツ	1
福岡工場(株)	1

合計 2

公務員

九重町役場	1
自衛官(一般曹候補生)	2
自衛官(自衛官候補生)	2

合計 5



第71回大分県高等学校総合体育大会

- 【男・女ホッケー部】 **優勝** (九州大会出場)
- 【少林寺拳法部】 男子単独演武：加藤雅稀 **準優勝** (全国・九州大会出場)
- 【ラグビーフットボール部】 **第3位**
- 【なぎなた部】 演技競技：河津怜奈・梅木菜々子 **第3位** (九州大会出場)
個人試合：小野 栞 **第3位** (九州大会出場)

全九州高等学校体育大会

- 【女子ホッケー部】 **優勝** (全国大会出場) / 【男子ホッケー部】 **準優勝** (全国大会出場)
- 【なぎなた部】 個人試合：小野 栞 **ベスト8**

全国高等学校総合体育大会(北海道インターハイ)

- 【女子ホッケー部】 1回戦敗退 / 【男子ホッケー部】 2回戦敗退

特別国民体育大会(かごしま国体)

- 【ホッケー少年女子 女子ホッケー部】 **準優勝**
- 【ラグビーフットボール少年男子】 後藤洸輝・高森将太 **第3位**
- 【なぎなた少年女子】 試合競技：白石結香 **優勝**

第60回大分県吹奏楽コンクール

- 【吹奏楽部】 小編成部門 **銀賞**

第59回席上揮毫大会

- 【書道部】 臨書の部：財津真央 **特選** / 14名 **推奨** / 創作の部：8名 **推奨**

第41回高山辰雄賞ジュニア美術展

- 【美術部】 4名 **推奨**

大分県農業クラブ大会結果一覧

- 【意見発表の部】 Ⅲ類 宿利美湖 **最優秀** (九州大会出場)
- 【農業鑑定競技会】 分野(農業) 瀧石玲美 **最優秀** (全国大会出場)
分野(食品) 志津里 悠 **優秀** (全国大会出場)
- 【家畜審査競技会】 分野(肉用牛の部) 諫山章陞 **最優秀** (全国大会出場)



定期総会報告

令和5年9月2日に玖珠町望山荘にて第1回玖珠美山高校同窓会定期総会を開催しました。総会で決まった会則、役員、事業計画、予算をお知らせします。会則は紙面の都合上、要点を外さないように原文を改変していますのでご了承ください。

大分県立 玖珠美山高等学校同窓会 会則

- 目的** 会員相互の親睦を図るとともに母校の発展に寄与することを目的とする。
- 事務局の所在地** 事務局を大分県立玖珠美山高等学校内に置く。
- 業務** 会員名簿の作成、会報の発行、母校教育への支援
その他本会の目的達成に必要な事業
- 会員** [正会員] 次の学校の卒業生
玖珠郡立実業小学校 玖珠郡立玖珠高等女学校
大分県立玖珠農学校 大分県立森高等女学校
大分県立玖珠高等学校 大分県立玖珠農業高等学校
大分県立森高等学校 大分県立玖珠美山高等学校
[準会員] 大分県立玖珠美山高等学校の在校生。卒業と同時に正会員となる。
[賛助会員] 大分県立玖珠美山高等学校の教職員。正会員出身校の教職員。
[名誉会員] 本会に特に功労がある者で理事会の承認を得た者
- 役員** 会長 副会長 理事 事務局長 会計 会計監査
副会長は若干名で、そのうち1名は玖珠美山高等学校長とする。
理事は若干名で支部長の中から選出する。支部長は支部において選出する。
会計は1名。会計監査は3名。事務局長及び会計は会長が委嘱する。
役員は総会で正会員より選出する。
- 役員の任期** 役員の任期は2年とし再任を妨げない。
- 顧問** 顧問の定員は若干名。顧問は会長の諮問に応ずる。
- 総会** 定期総会は年1回、臨時総会は必要に応じて開催し、次の事項を議決する。
事業計画及び予算並びに事業報告及び収支決算 役員の選出 その他重要事項
- 理事会** 必要時に開催。会長、副会長、理事、事務局長、会計で構成し次の事項を議決。
総会提出議案 名誉会員の入会 重要で緊急な事項 総会議決項目外の事項
- 決議方法** 会議の出席者の過半数。賛否同数の場合は議長が決する。
- 執行機関** 会務の執行機関として事務局を置く。事務局は事務局長、会計、事務局員。
- 本会の経費** 運営に必要な経費は、入会金及び賛助金・寄付金を充てる。
- 入会金** 入会金は5,000円。賛助会員及び名誉会員は入会金を免除する。
- 委任** 会長は、入会金の徴収及び支出に関する事務を校長（副会長）に委任する。
- 会計年度** 4月1日より翌年3月31日まで。

支部組織

- 目的** 本会の目的を達成するために地域ごとに支部を置き、会員相互の親睦・交流等の活動を推進する。支部長は支部を代表して本部との連携にあたる。
- 支部の設置及び統廃合** 支部の設置、統合または廃止については、本部と協議する。
- 附則** 本会則は、平成28年3月1日から施行する。
本会則は、令和5年3月26日一部改定する。

役員等一覧

職名	氏名	卒年	回生	備考
顧問	梅木幸徳	S33	10	玖珠農業
顧問	坂本和昭	S35	12	玖珠農業
顧問	衛藤征士郎	S37	14	森
顧問	菅 優一郎	S43	20	森
会長	河野博文	S46	23	森
副会長	穴井裕康	S36	13	玖珠農業
副会長	野上香代子	S54	31	玖珠農業
副会長	梶原久美子	S41	18	森
副会長	麻生良典	S47	24	森
副会長	梶谷裕治	H28	1	玖珠美山
副会長	託摩美有	H28	1	玖珠美山
副会長	秋好寿紀	S55	32	森(校長)
会計監査	高橋裕二郎	S42	19	玖珠農業
会計監査	須藤百合子	S43	20	森
会計監査	時松真大	H28	1	玖珠美山
事務局長	川端隆裕	H 6	46	森(教諭)
会計	長石庄一郎	S59	36	森(事務長)

理事の交代に伴い、北山田（玖珠農業）と東飯田（玖珠農業）は新理事で掲載しました。

職名	氏名	卒年	回生	備考
理事	森	帆足源三	S40	17 玖珠農業
理事	玖珠	日隈紀生	S33	10 玖珠農業
理事	北山田	高倉預一	S52	29 玖珠農業
理事	八幡	宿利忠明	S43	20 玖珠農業
理事	東飯田	佐藤明郎	S54	31 玖珠農業
理事	野上	財津多喜彌	S37	14 玖珠農業
理事	飯田	鷺頭栄治	S45	22 玖珠農業
理事	南山田	江藤一幸	S49	26 玖珠農業
理事	日田・天ヶ瀬 三津江・大山	武原勇一郎	S41	18 玖珠農業
理事	大分・由布	吉野賢一	S37	14 玖珠農業
理事	福岡	飯田登喜男	S35	12 玖珠農業
理事	北九州	佐藤英輔	S28	5 玖珠農業
理事	東海	河原利己	S58	35 玖珠農業
理事	東京	麻生正則	S42	19 玖珠農業
理事	森北部	秋山泰士	S41	18 森
理事	森南部	浅田健治	S43	20 森
理事	玖珠	田中照政	S36	13 森
理事	北山田	石井龍文	S46	23 森
理事	東飯田	永樂 拓	S32	9 森
理事	野上	岩尾茂樹	S47	24 森
理事	南山田	小田原克也	S48	25 森
理事	飯田	甲斐誠司	S47	24 森
理事	日田	工藤正徳	S37	14 森
理事	大分・別府	深草秀昭	S41	18 森
理事	福岡	渡辺美敏	S44	21 森
理事	関西	吉武小二郎	S45	22 森
理事	関東	山上 剛	S44	21 森
理事	玖珠町役場	衛藤 正	S57	34 森

令和5年度 事業計画

令和5年 11月	同窓会報第一号発行 第2回創立10周年 準備委員会
令和6年 2月	第3回創立10周年 準備委員会
2月29日(木)	令和5年度 同窓会入会式

学校創立10周年事業

- 記念式典
ア) 予定日：令和6年10月11日(金)
イ) 予定会場：くすまちメルサンホール
- 記念講演：実施予定(講師：未定)
- 招待試合：実施予定(ホッケー、野球、ラグビー)
- テーマ、シンボルマーク：作成予定
- 記念誌、記念品、横断幕：作成予定
- 祝賀会：実施しない
- 予算：150～200万円

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
会費	520,000	415,000	105,000	
賛助金	2,000,000	0	2,000,000	
繰越金	3,325,446	2,950,273	375,173	前年度より
資金	4,000,000	0	4,000,000	二校同窓会より
雑収入	54,554	50,727	3,827	預金利息、吹奏楽部返金
計	9,900,000	3,416,000	6,484,000	

令和5年度 収支予算

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
会議費	500,000	100,000	400,000	総会、理事会等経費
印刷消耗費	1,500,000	50,000	1,450,000	同窓会報、消耗品代
通信運搬費	1,500,000	10,000	1,490,000	郵送料等
記念品費	60,000	35,000	25,000	卒業記念品代
遠征費補助	600,000	0	600,000	全国大会等激励金
予備費	5,740,000	3,221,000	2,519,000	
計	9,900,000	3,416,000	6,484,000	

賛助金についてのお願い

同窓会活動は皆様からの賛助金収入で行っています。賛助金は1口1,000円以上をお願いしております。口数は何口でも結構です。何かと厳しい環境下ではございますが、趣旨をご理解いただきまして別紙用紙で振り込みをよろしくお願い申し上げます。尚、賛助金をいただきました会員の皆様には引き続き会報を発送させていただきます。

振込先

- 郵便振込口座番号
01720-6-153803
- 振込先名義
大分県立玖珠美山高等学校同窓会
- 振込先住所
大分県玖珠郡玖珠町大字帆足160

「楠友会」からの寄付金について

〔校長〕秋好寿紀

本年、10月3日に旧玖珠農業高校同窓会「楠友会」様から、本校へ1,058万円もの高額な寄付金をいただきました。

当日は、会長の穴井裕康様と副会長の永尾宗忠様が来校され、寄付金の目録を手渡していただきました。穴井様から同窓会林として植林をした経緯や、当時の在校生の皆さんが林木の管理や環境整備に携われたことをお聞きしました。また、玖珠農業高校の閉校に伴い同窓会林を伐採・販売した益金の運用については、8月に開催された最後

の「楠友会」総会で決議され、この度の寄付に至ったこともお伺いしたところです。

本校では、この寄付金を基金として管理し、農業教育の充実・発展や農業人材の育成を目的として、効率的かつ計画的に利用させていただきたいと存じます。「楠友会」会員の玖珠農業高校卒業生の皆様には、農業教育への長年の御支援とこの度の御厚志を賜り、心からの謝意を表する次第です。玖珠美山高校を代表してお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今後の会報の送付方法

今回は新同窓会が設立された記念すべき第1号ですので会員全員の方に会報をお送りしました。しかし、毎年約2万部の会報を郵送することは限られた予算の中では大変困難だと思っていますので、次のような方法でご覧いただこうと考えています。

- 01 | 同窓会HPで閲覧する（表紙もしくは裏表紙のURLにアクセスしてください）
- 02 | 賛助金にご協力頂いた方には、会報を郵送する



地域と共に

美山マールシエ
地域と玖珠美山高校を結ぶ

同窓会HP(ホームページ)開設

会員の皆様の交流をより一層円滑にするためにHPを作成しました。同窓会からのお知らせはもとより、皆様からのご意見や情報も頂けると幸いです。

是非、下記URLにアクセスしてみてください。

<https://kusumiyama-dousoukai.jp> 検索

事務局 大分県玖珠郡玖珠町大字帆足160

大分県立玖珠美山高等学校

TEL : 0973-72-1148

学校代表Email : a32750@oen.ed.jp

同窓会の愛称を募集します

玖珠美山高校同窓会に会の呼び名や会報のタイトルなどに会員の皆様より親しみのある愛称を募集します。応募の方法は左欄に記載しましたHP(ホームページ)に投稿願います。

令和6年3月で応募を締め切りとさせていただきます。役員会等で協議・決定し、採用名は次回の会報で発表します。

多数の応募をお願いします。

委員長	坪井公治	S42卒	19回生	玖珠農業
副委員長	穴井千津子	S46卒	23回生	森
委員	衛藤和敏	S55卒	32回生	玖珠農業
委員	麻生良典	S47卒	24回生	森
委員	佐藤冬佳	H28卒	1回生	玖珠美山

同窓会報編集委員会

編集後記

坪井公治

創刊号をお読みいただき、ありがとうございます。

各校二名ずつにて構成された編集委員会です。三校合同の委員会であるかと思っておりますが、メンバーには、これまで会報に携わってきた方々が加わっており、滞りなく進めてまいりました。新しく玖珠の地に創設され、地域の期待の大きな玖珠美山高校の活動と同窓会の内容をくわしく紹介するには紙面が足りませんが、回を追って進めてまいりたいと思っております。会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

